

第2章 中央市の子育てを取り巻く現状と課題

1 中央市における子育て支援施設・施策の現状

(1) 保育園・認定こども園・小規模保育園の状況

本市には6か所の保育園、3か所の認定こども園、2か所の小規模保育園がある。

現在、乳児保育は公立保育園4か所と民間5か所で実施され、平成30年度から豊富保育園での開始も予定されている。延長保育は全園で実施されている。なお、休日保育を実施している施設はない。

平成29年4月1日現在

施設名	玉穂 保育園	田富第一 保育園	田富第二 保育園	田富第三 保育園	田富北 保育園	豊富 保育園
住所	成島 2387-2	布施 3015	西花輪 2002	東花輪 1173	山之神 22-59	大鳥居 3790
開所年度	昭和28年	昭和29年	昭和47年	昭和53年	昭和58年	昭和43年
開園時間	7:30～ 19:00	7:30～ 19:00	7:30～ 19:00	7:30～ 19:00	7:30～ 19:00	7:30～ 19:00
乳児保育の 有無	有 (6か月以上)	有 (6か月以上)	有 (6か月以上)	有 (6か月以上)	無	無
延長保育の 有無	有 (18:30～ 19:00)	有 (18:30～ 19:00)	有 (18:30～ 19:00)	有 (18:30～ 19:00)	有 (18:30～ 19:00)	有 (18:30～ 19:00)

施設名	社会福祉法人 まみい・キッズ こども園	学校法人中澤学園 みかさこども園	学校法人井口学園 わかばこども園	ゆりかご愛児園	みんなのいばしょ
住所	成島 1072-1	臼井阿原 813-6	井之口 937-2	若宮 31-3	東花輪 1844-2
開所年度	平成13年	昭和55年	昭和54年	平成28年	平成29年
開園時間	7:30～ 19:00	7:30～ 19:00	7:30～ 19:00	7:30～ 19:00	6:30～ 19:30
乳児保育の 有無	有 (2か月以上)	有 (6か月以上)	有 (6か月以上)	有 (2か月以上)	有
延長保育の 有無	有 (18:30～ 19:00)	有 (18:30～ 19:00)	有 (18:30～ 19:00)	有 (18:30～ 19:00)	有 (6:30～7:30) (18:30～19:30)

(2) 児童館の状況

市内には 11 か所の児童館があり、田富地区 7 か所、玉穂地区 3 か所、豊富地区 1 か所となっている。

また、平成 28 年度の年間利用者数は、11 か所をあわせて延べ 49,136 人となっている。

平成 29 年 4 月 1 日現在

施設名	玉穂中央 児童館	玉穂北部 児童館	玉穂西部 児童館	田富中央 児童館	田富 わんぱく 児童館	田富 ひばり 児童館
住所	成島 3512-2	井之口 1139-1	下三條 133	布施 2382	東花輪 1351-1	山之神 1156-119
開所年度	昭和 63 年	平成元年	平成 2 年	昭和 54 年	昭和 56 年	昭和 57 年
開館時間	10:00～ 12:00 13:00～ 18:00	10:00～ 12:00 13:00～ 18:00	10:00～ 12:00 13:00～ 18:00	10:00～ 12:00 13:00～ 18:00	10:00～ 12:00 13:00～ 18:00	10:00～ 12:00 13:00～ 18:00
年間 利用者数 (28 年度)	2,802 人	7,192 人	1,388 人	3,770 人	9,328 人	10,027 人

施設名	田富 杉の子 児童館	田富 ひまわり 児童館	田富 つくし 児童館	田富 すみれ 児童館	豊富 児童館
住所	西花輪 1415-3	東花輪 1119-26	藤巻 2303-2	布施 242-3	大鳥居 3770
開所年度	平成元年	平成元年	平成 5 年	平成 10 年	平成 4 年
開館時間	10:00～ 12:00 13:00～ 18:00	10:00～ 12:00 13:00～ 18:00	10:00～ 12:00 13:00～ 18:00	10:00～ 12:00 13:00～ 18:00	10:00～ 12:00 13:00～ 18:00
年間 利用者数 (28 年度)	3,734 人	1,216 人	2,434 人	846 人	6,399 人

(3) 子育てサークルなどの状況

本市には子育てサークルや子育てを支援するボランティアグループが3団体ある。

それぞれ乳幼児の親子に向け、季節の行事などのイベント開催や託児などを行っている。

団体名	活動日時	活動場所	対象	活動内容	備考
にこにこ KIDS	毎週 金曜日	玉穂北部 児童館	就園前の子と その保護者	・お話し会 ・自由遊び ・季節の行事	—
おんぶコアラ	随時	玉穂 総合会館	子育て中の親 とその子ども	・みらいサポート中央の講 習会における託児 ・親子を対象にした遊びの 広場開催（中央市民の集 い）	ボランティア グループ
ちびチュウ	毎月第3 月曜日他	長栄寺等	子育てに関わ っている人	・季節のイベント ・公園遊び ・ママのリフレッシュ教室	ボランティア グループ

(4) 地域子育て支援拠点事業

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行っている。

現在、まみい・キッズこども園内の「ちゃいるど広場」と、いちやまマート玉穂店内の「まちかど保育園」の2か所で実施している。

(5) つどいの広場事業

0歳から3歳までの未就園児と保護者が気軽に集い、交流し、子育ての相談ができる場所として、つどいの広場「笑」を実施している。その他、各種講師を招いての親子教室を毎週開催・運営している。

(6) ファミリー・サポート・センター運営事業

乳幼児から小学生までの児童を有する子育て中の保護者への援助活動として、児童の預かり等について、援助を受けることを希望する者と援助を行うことを希望する者との連絡及び調整を行う事業を実施している。平成28年度の利用者は、就学前児童が延べ256人、就学児童が延べ644人となっている。

(7) 一時預かり事業

保護者の勤務形態等により、家庭における育児が一時的に困難となる就学前の児童、保護者の傷病・入院等により、緊急的に保育を必要とする就学前の児童及び保護者の育児に伴う心理的、肉体的負担を解消するために保育を必要とする就学前の児童を保育園で保育する事業である。

公立保育園3か所は一般型（主として保育園、幼稚園、認定こども園等に在籍していない園児対象）、認定こども園3か所は幼稚園型（幼稚園に在籍する園児対象）を実施しており、平成28年度の利用者は全体で延べ2,835人となっている。

(8) 病児・病後児保育事業

保育園等に通っている乳幼児や小学校の子どもが、病気または病気回復のため集団生活が困難な時期に、病院・保育園等に付設された専用スペースにおいて、看護師・保育士により、一時的に子どもを預かる事業である。

まみい・キッズこども園で園児の病児保育（体調不良児対応型）を実施している。

また、平成29年4月から、甲府圏域（中央市・甲府市・南アルプス市・甲斐市・笛吹市・昭和町）による病児保育施設の相互利用（広域化）が開始されている。

(9) さまざまな人との交流

乳幼児や保護者を対象とした愛育会主催の「育児学級あそびの広場」や父親を対象とした「パパと遊ぼうあそびの広場」、高齢者との三世代交流を目的とした「まごまごクラブ」など、遊びを通じて保護者同士や高齢者などさまざまな人と交流する場の提供を行っている。

(10) 相談事業

妊産婦及び乳幼児の保護者を対象に、妊娠・出産・育児や子どもの成長に対する不安を解消することを目的とし、保健師や管理栄養士が対応する「妊婦相談」「すこやか相談」また、児童発達相談員が対応する「子育て相談」等を実施している。

2 子育て支援に関するニーズの把握

(1) アンケート調査の実施

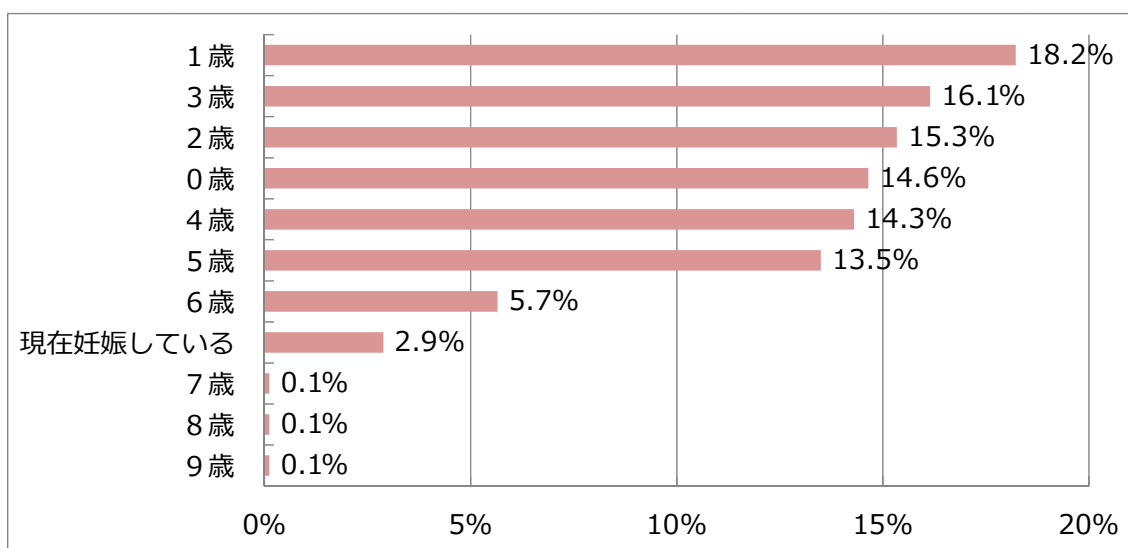
子育て支援に関する多様なニーズを把握するため、アンケート調査を実施した。

1) 調査概要

- ・調査目的：子育て支援総合拠点に求める設備やサービスを中心に、子育て支援に関する市民のニーズを把握する。
- ・調査項目：回答者の属性、新たに整備をする子育て支援総合拠点にあるとよいスペース・設備、子育て支援総合拠点にあるとよい支援サービスなど。
- ・調査方法：母子手帳交付、健診等で来庁した市民に調査票を配布し記載してもらう方法、もしくは、保育園・こども園を介して調査。
- ・調査期間：2017年8月8日～2017年9月20日
- ・回答数：867件

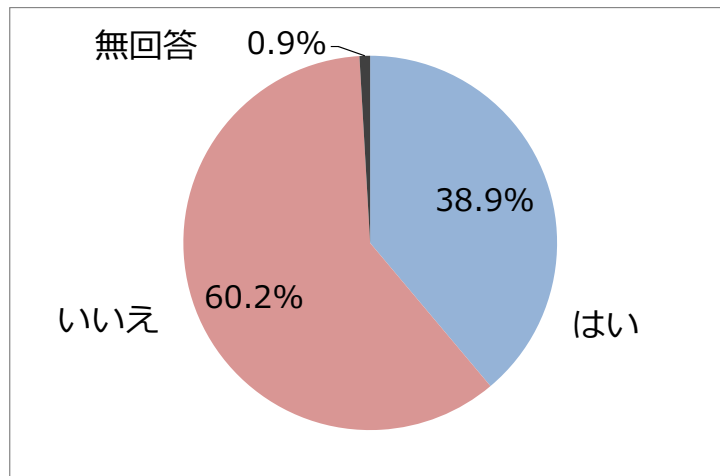
2) 主な調査結果

■回答者の属性（一番下の子どもの年齢） [n=867]



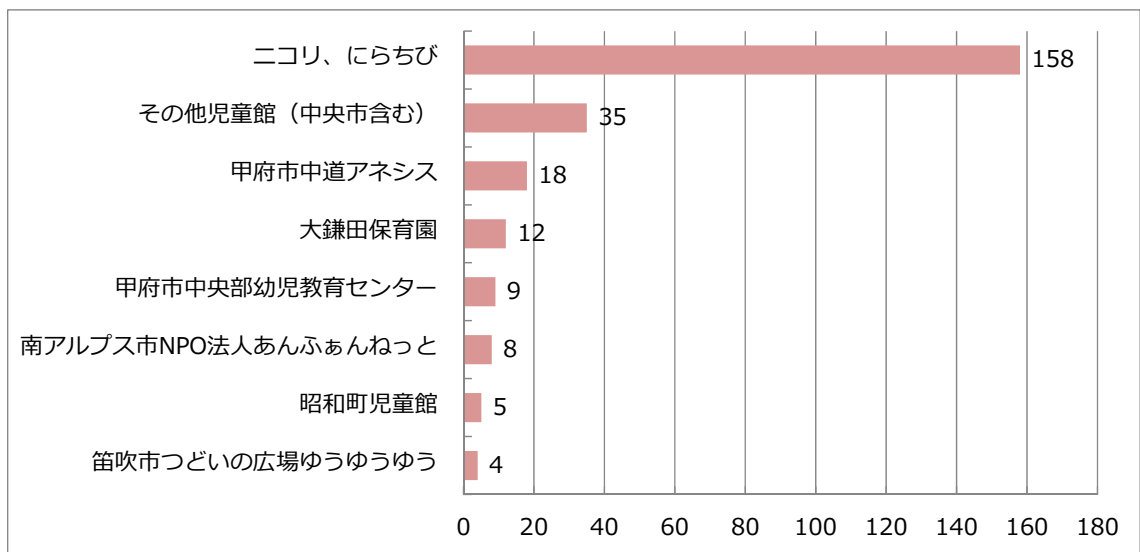
1歳が最も多く、0歳から5歳までで92.2%を占めている。

■他市町村の子育て支援センターを利用したことがあるか [n=867]



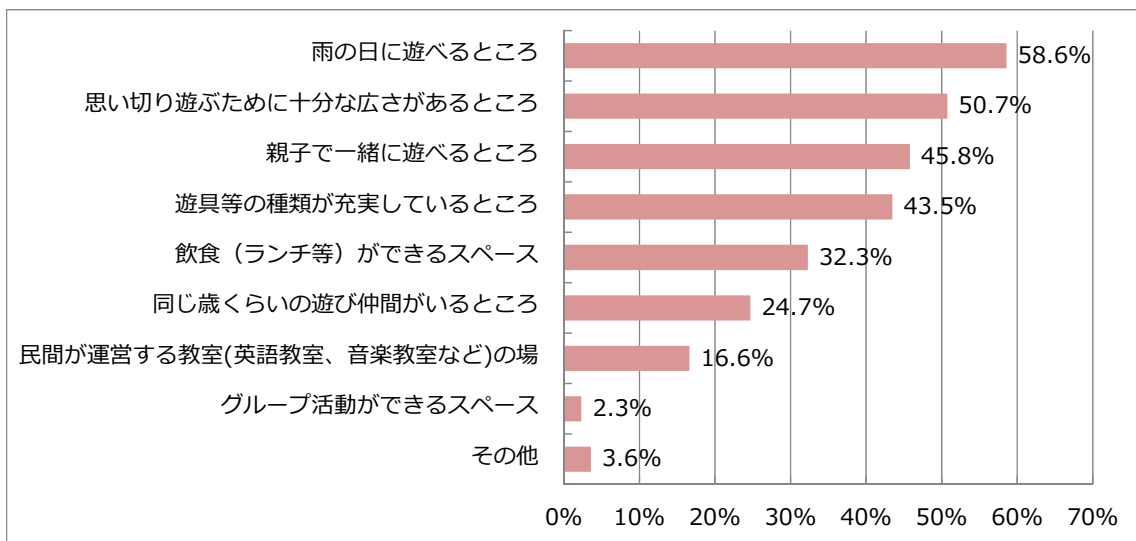
38.9%が利用したことがあると回答している。

■利用したことがある場合、その施設はどこか [主な回答]



韮崎市子育て支援センター（ニコリ）を利用したことがある人が圧倒的に多い。

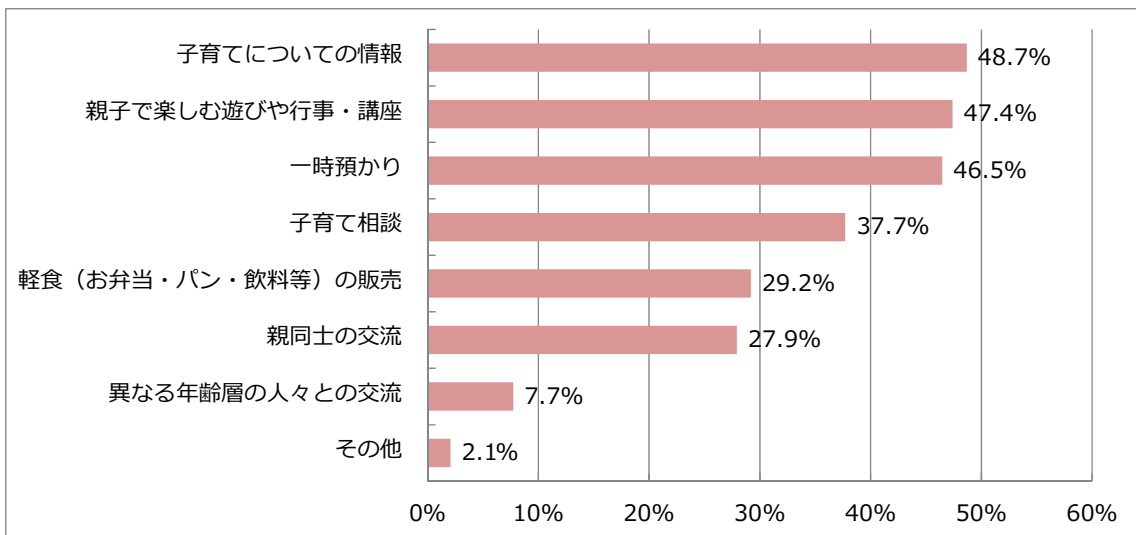
■子育て支援総合拠点にあるとよいスペース・設備 [n=867 複数回答]



「雨の日に遊べる場所」、「思い切り遊ぶために十分な広さがある場所」、「親子で一緒に遊べる場所」、「遊具等の種類が充実している場所」などのニーズが高い。

また、「飲食（ランチ等）ができるスペース」、「同じ歳くらいの遊び仲間がいる場所」に関しても一定のニーズが見受けられる。

■子育て支援総合拠点にあるとよい支援サービス [n=867 複数回答]



「子育てに関する情報」、「親子で楽しむ遊びや行事・講座」、「一時預かり」などのニーズが高い。

また、「軽食の販売」、「親同士の交流」に関しても一定のニーズが見受けられる。

■子育て支援総合拠点へのご要望、ご意見等（原文ママ）

【情報提供に関して】

- ・その土地に引っ越して来た人が、気軽に子育てについて相談したり子供を連れて遊べる場等をすぐ案内してもらえると嬉しい。核家族で頼る親戚がいなくても、子育てにおいて困らない環境がもっと整うと良いなと思います。

【託児に関して】

- ・一時預かりを手軽に利用できると嬉しい。子供（上の子）のお迎えや病院時等。
- ・子供の託児付のイベントがあるといいと思います。一時でも子供と離れて参加できるものがあるとリフレッシュでき、子育てのストレス発散にもなるのではないかと思います。
- ・1日10分でも自分の為の時間が持てること。一人で買い物に出掛けること。美容院に行けること。それが出来るだけで、本当に救われます。

【複数の子ども・異なる年齢層の子どもに関して】

- ・未就園児（特に0～1歳）は遊べる場所が限られてしまうので安全に遊べる支援センターがあると助かります。大きな子も一緒に居るような場所だとどうしても危ない事があるので年齢で分かれていると安心できます。
- ・支援センターは兄弟が居る家庭が利用することを考慮して、未満児のスペース、幼児のスペース、小学生（低学年）のスペースと別れていると嬉しいです。

【施設等を利用できる日時に関して】

- ・夏休みになると学童が利用できず、家でこもりきりになってしまうことが多く、困った。（もし、どこかでそういった学童の代わりがあると夏は助かります。）
- ・土日祝日に使える設備、施設があると良いと思う。
- ・図書館、プール等、市にある物全てが月曜日休みなので、どこか1箇所でもやっていたら良いなと思います。
- ・中道の児童館は9:00～やっていますが、12:00までしか利用出来ず一度帰宅しないといけないのが大変でした。
- ・飲食出来る時間があれば良いと思う。家に帰るまでに寝てしまい、昼食や昼寝の時間がずれてしまうので。

(2) 関係団体ヒアリングの実施

1) 調査概要

- ・調査目的：子育てサークルや子育て支援に関連する団体のニーズを把握する。
- ・調査項目：団体の概要、子育てに関して感じること、中央市の子育てに対する認識、新たに整備をする子育て支援総合拠点にあるとよいスペース・設備、子育て支援総合拠点にあるとよい支援サービスなど。
- ・調査方法：面談
- ・調査期間：2017年9月21日
- ・回答団体数：4件
- ・回答団体概要：子育てサークル（2件）、子育て支援関連団体（2件）

2) 主なヒアリング結果

■子育てに関して感じること

- ・職場復帰するため保育園に預ける人が増えており、子育て支援施設では、2歳児の利用は減っているように感じる。
- ・幼児全体の1割程度はいると言われる発達障がいの子どものフォロー等にも力を入れてほしい。狭いセンターだと行きにくい。
- ・子育てで特に大変なのは、2歳くらいのとときと思春期の頃とを感じる。そのような大切な時期に、子どもを手元で見るとはとても大事である。そのような親にとって使いやすい場所があるとよい。
- ・実家は近いが、同居の祖父母には話づらいことも多くやはり同世代の人と話をしたい。

■中央市の子育て環境に対する認識

- ・中央市の子育て層は、ちゃいんど広場（まみい）、まちかど広場（いちやまマーケット玉穂店）、ファミリーサポートセンター、つどいの広場「笑」、親子教室といった各サービスをうまく組み合わせて利用している。
- ・昭和町、甲府市、南アルプス市等から来る人もいるなど事業は好評であり、継続してほしい。
- ・県外から来た人からは、中央市は住みやすいとの声も多い。
- ・ちゃいんど広場は平日毎日オープンしているが、「まみい・キッズこども園」の

中にあるため、やや利用しにくい。一方、まちかど広場は利用しやすい。いちやまマートで木曜市が開催される木曜は混む。

- ・ つどいの広場「笑」は、金曜しか開催されないため、月～土に拡大してほしい。
- ・ 双子の親、祖父母、外国籍の人など、いろいろな人が来るので、入りやすい施設が望ましい。外国籍の人からは、説明書等を読んでもらいたいという要望もある。
- ・ 首都圏から転居してくるなど、車を使えない（運転しない、家族が使っている）人もいる。
- ・ ファミリーサポートセンターは提供会員の登録者が少ないようだが、その一因として、「自分ひとりで他人の子どもを預かるのはこわい」という気持ちがあると考えられる。
- ・ 中央市には広いスペースがある施設が少ないため、ニコリが重宝されている。
- ・ 中央市の児童館などでは、昼休みは閉鎖されるので外に出なくてはならない。9時～16時くらいまで利用できるとよい（ただし、あまり長いと、夜ご飯や寝かせる時間にも影響する）。
- ・ 児童館は多いが、赤ちゃんが寝転んだりするには適していない。

■ 子育て支援総合拠点への要望

【ハード設備】

- ・ ニコリのような総合的な施設は、ここにはちょっと違うように思う。総合的なサービスを提供するためには運営側の負担も大きいとともに、分散していろいろな施設があるメリットもある。
- ・ 与えられるばかりではなく、子育て世代が考えて自主的に行動できるようなスペースがあるとよい。それによって親が学び、子育て・家族の問題の解決力を高めていけると考える。
- ・ 昼食を食べられる場所。
- ・ 不登校の子どもの居場所にもなるとよい。
- ・ 室内大型遊具、ボールプール、室内砂場、トランポリン、低い平均台、ミュージックパッドなど、運動神経の発達を促すもの（親が運動してもよい）。
- ・ 走り回れる子と赤ちゃんが共存すると危険なので、強化ガラスなどでスペースを区切るのもよい。赤ちゃん用スペースにはクッション性のある床がよい。
- ・ 出入口近くのトイレ、おむつかえシート（たまたま通りがかった場合でも利用できるとうれしい）。

- ・少々の段差、和式トイレなどもあってよい。これらがないと筋力がつきにくかったり、転びやすくなってしまう場合もある。
- ・子どもが外に勝手に行かないよう、鍵の場所には配慮してほしい。
- ・給湯器。
- ・0歳児用の沐浴スペース。
- ・野菜等の販売所。
- ・DIYや木工などができるスペース。

【ソフト施策】

- ・ただ子どもを遊ばせるだけでなく、参加型で子育て意識を高める取組みを行い、親育ちを支援するのがよい。
- ・昼休みの閉館は不便である。
- ・防災マップ、子育て（に有用な情報を集めた）マップなども掲示してほしい。
- ・一時託児機能。
- ・幼児に対する専門知識のあるスタッフ。
- ・親に対する就職（パート含む）サポート。
- ・たとえば「関西出身ママ」、「アラフォーママ」といったテーマをたてると、共通項がある安心感から人は集まりやすい。
- ・スタッフがいかに気持ちよく声をかけてくれるかが重要。
- ・ニコリでは、スタッフがよくユーザと話をするが、その結果、うまくニーズを聞きだすことができている。

(3) 子育て支援に関する主要なニーズの整理

【主にハード面に関して】

- ・「雨の日に遊べるところ」、「思い切り遊ぶために十分な広さがあるところ」、「親子で一緒に遊べるところ」、「遊具等の種類が充実しているところ」などのニーズが高い。
- ・また、「飲食（ランチ等）ができるスペース」、「同じ歳くらいの遊び仲間がいるところ」に関するニーズも見受けられる。
- ・市民の多くが蕪崎市のニコリを利用した経験があり、類似した施設・サービスを求めている。
- ・児童館は、数は多いが、幼児向けとは言い難く利用しにくい。
- ・異なる年齢層の子どもが混在すると危険である。

【主にソフト面に関して】

- ・子育てに関する悩み、相談は非常に多い。
- ・夏休み期間に子どもが行く場所がなくて困る。
- ・1日を通して利用できる施設が良い。
- ・既に親のグループができてしまっていると後からは非常に入りにくい（複数の施設が点在していれば、その中から自分にあったものを選びやすい）
- ・ちょっとした時間だけでも子どもを預けられるととても助かる、急用ができたときに事前予約なしに預けたいなど、一時託児や病児保育に対する要望が非常に多い。
- ・保育士などスタッフの質が非常に重要。
- ・車を運転しない人もいるので、アクセスの確保が重要。
- ・子どもだけでなく、子育てを通じて親が育つような場が望ましい。